

松本商工会議所の活性化に係わる答申書 (抜粋版会報用8P)

・【諮問テーマ】

時代にあった松本商工会議所活動の活性化にむけて、どのように進めたら良いか伺います

< 諮問の主旨 > :

松本商工会議所創立100周年で制定したマスタープランにもとづき、地域経済の活性化をよりダイナミックに進めるためには、地域を代表する経済団体としての役割をしっかりと果たすことが重要で、それが、真に会員&地域から「信頼される会議所になる」ことです。従って、今まで進めてきた会議所運営にとらわれず、時代にあった会議所運営の方法や進め方について伺います。

・【答申検討の経過・内容概要】

平成21年7月からの様々な機会に 会員・議員・役員の皆さんから沢山の意見を頂きました。皆さんが捉えている会議所活動における問題点(現象)は非常に多岐にわたっており、又、長期にわたって継続している問題のため 原因は複雑ですが、その問題の本質を会議所運営(経営)の観点で分析すると、

会議所と会議所活動(理念・使命、めざすべき姿、事業、他)に対する理解レベルがバラバラであること、或いは、理解不足であること、

何をどのように進めるか(中期方針・計画、組織機能と役割)が明確でなく、ベクトル(方向と大きさ)が合っていないこと と集約できます。

会員の皆さんから頂いた意見は、「この厳しい時代であるからこそ 信頼される会議所にしなくては」の思いが詰っていました。

従って、検討プロジェクトでは、「会員・地域企業の発展、そして 地域産業・経済課題を解決する活動」をもっと活発化するために、「会議所組織をいかにして動かすか・より活発にさせるか」、言い方を変えると「組織を挙げて行動する仕組みや仕掛け」について検討してきました。

具体的には、**組織として活動するためには 全員のベクトル(方向と大きさ)を合わせる事が重要**ですので、会議所発足時からの「**会員主役という基本理念**」をもとに、

1. **企業の社訓・社呈に相当する「当会議所(活動)の理念・使命、めざすべき姿」について以前から実行してきたものを整理・明文化しました、**
2. **「何を進めるか、即ち、中期的に重要な課題」と「組織の誰がどのように進めるか、即ち、組織機能図と役割・期待」とを明確にしました、**
3. **本答申を確実に前進させるため、活性化推進プロジェクト等を立ち上げる提案**

を盛り込みました。

平成22年5月27日 (2010年)

地域経済活性化にむけた 松本商工会議所活性化検討プロジェクト ~ 喝 ~

・【答申】

【答申】-1. 松本商工会議所の「理念」「使命・役割」「めざす姿」を明確にし、会員で共有して下さい

会議所が活きた組織として活動するためには、会員全員で 会議所に対する認識(ベクトル)を合わせる事が重要です、従って、企業の社訓・社呈に相当する 当会議所(活動)の「理念・使命、めざすべき姿」を明文化し共有して下さい、

(1). 理念 (行動の基本的方針): <会議所活動するにあたって、これを基本理念として行動する>

「貢献、自主・自立、参画、挑戦」

- ・貢献: 会員事業の発展と地域課題の解決活動を通して地域産業を牽引し **地域に貢献**する
- ・自主: 会議所として **自らが主体的に考え行動**する
- ・自立: 財政的にも精神的にも **自立**する
- ・参画: 会員主役の精神で会議所活動に**参画**し 使命遂行にむけて行動する
- ・挑戦: 非常に厳しい経営環境の中で **自社事業の発展と地域課題解決にむけ挑戦**する

(定款・規定、創立主旨、101年の活動経緯から上記の理念を設定)

(2). 使命 (存在意義、ミッション):

地域経済課題の解決を図る

企業を成長・発展させ 地域産業を牽引する

地域を代表する総合経済団体としてリーダーシップを発揮して **経済課題の解決を図り**、
産業の健全な発展と地域経済の振興を促し、もって 地域社会の調和ある発展と
福祉の向上に資する

会員の自助努力と相互研鑽により、**企業を成長・発展させ** 地域産業を牽引する

(事務局は 会員ニーズにもとづいて支援事業を遂行する)

(定款・規定、実施事業から)

(3). めざす姿 (ビジョン): <将来目指す具体的な姿、事業を通して実現したいこと、ありたい姿>

「信頼される会議所」・「行動する会議所」

<状態>

地域の中で「なくてはならない会議所」「信頼される会議所」になっている

会員が、議員が、役員が、職員が、夫々の立場で きらきら輝いている (生き活きと)

<行動>

地域の総合経済団体として リーダーシップを発揮して 経済課題を解決している

自社事業での自助努力と会員相互研鑽により 常に経営の革新や改善向上をしている

会議所組織が機能的にうまく連携して 内外の課題解決に成果を出している

(地域から見た会議所の役割と 自分達のありたい姿を考えて)

[答申]-2. 推進すべき中期課題と実行主担当(部会・委員会等)を明確にし、進めて下さい、

会議所として取り組むべき地域経済課題の解決活動(意見提言・具申・建議)は、会議所の存在価値そのもので、定款に事業として明記されているが その活動は活発であるとはいえない。従って、部会・委員会を主体とした会議所全組織をあげてこれに取り組んで下さい、

2-(1) 重要課題・テーマ例示 <主たるもの>

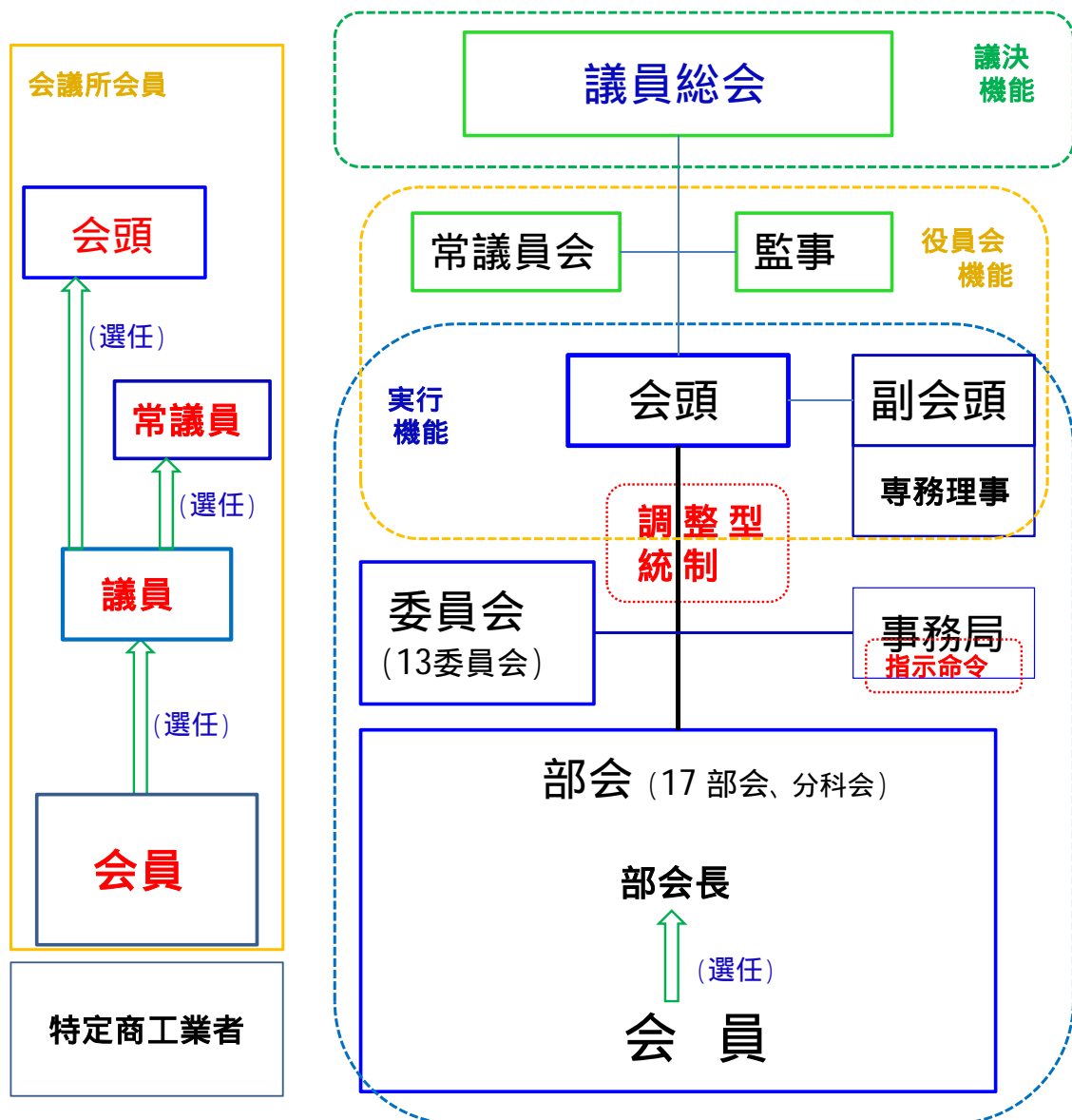
<p><基本の考え方></p> <p>以下は、例示であり、各部会・委員会等が自主的に課題を取り上げ、検討することを基本とする 会議所として出来ることと出来ないことがある、又、他人任せでなく自分達で出来ることも明確にする 課題を認識し検討するだけでも意義のあるテーマもある 課題検討過程での自由意見を参考に検討する</p>
<p>1. 経済・産業一般:</p> <p>* 過去四半世紀で30%も企業数(商業・工業)が減少し続けている地域産業の真の問題点を理解し 課題を挙げるなかで、会議所としてどう対処したらよいか、</p>
<p>2. 商業・サービス業:</p> <p>* 2009年3月に策定した商業ビジョンの高度化と 実現にむけて、もっと有効的・具体的な進め方について再整理・再方向付けを検討する * 魅力・特徴ある商店街づくりにむけ、課題を明確にし、会議所として何を実施すべきか</p>
<p>3. まちづくり:</p> <p>* 松本市民が住みやすい、また観光客がもう一度来たいと思える魅力な街づくりの大きな方向性を 検討し、それに対するの会議所としての役割を意識して推進する、 <まちづくりは、店舗・商店街だけでなく、居住、道路・交通、文化・公共施設、町会・市民、観光、他 総合的な検討が必要であり、会議所はどのような立場・役割で参画するか></p>
<p>4. 工業・ものづくり :</p> <p>* 特徴あるものづくり企業にむけ、会議所として具体的にどう支援したら良いか * 2008年3月に策定した工業ビジョンの実現にむけて、3年次チェックと今後の進め方再整理</p>
<p>5. 観光コンベンション:</p> <p>* 地域観光に関係する団体等が共有できるビジョン(大きな方向)の検討と 当会議所の役割・進め方はどうするか、</p>
<p>6. 建設 :</p> <p>* 将来にむけて、健全な建設業を育成してゆくために、商工会議所としてのどのように対応するか * 市民・行政から理解してもらえる・必要とされる建設業になるためには どう進めたら良いか</p>
<p>7. 組織基盤強化・財政基盤強化 :</p> <p>* 会員主役の商工会議所を目指して、一般会員にも積極的に参加してもらうにはどうするか、 仕組と仕掛けの面からもっと検討する</p>
<p>8. 自社企業体質強化・経営支援 :</p> <p>* 企業を元気な企業にするためには、企業が自ら取り組むのが前提であるが、会員同士共通して 取り組める事業はどうしたらよいか、<例示:戦略・事例を研究し自社事業戦略のヒントを得る></p>

【答申】-3. 会議所活動を活発に進めるため、機能組織と期待する行動基準を明確にして下さい

会議所活動を活発にするためには組織として動くことが重要であり、誰が・誰と連携して・何を・どのように実行するかを明確にすることが重要です。従って、機能組織(図)、部会・委員会・他の具体的役割と行動基準について、定款・規約にあるものをわかりやすく整理しましたので会員にて共有して下さい、

3. -(1) 会員主役による機能組織図：

(地域経済活性化にむけて期待される機能組織)



* 各組織、会員・議員・役員は、会頭の緩い統制の下で、自主性・主体性を発揮して 期待される事業を展開・実行する

3. -(3) 部会の役割と具体的活動(詳細)


(当会議所の定款・規約とその行間を読み取り わかり易く整理した)

(会員主役による地域経済活性化にむけて 今後 期待される部会活動)

1. 基本の進め方:

会議所の使命は、「**会員企業の発展を図る**」と共に「**地域産業・経済の活性化に寄与する**」ことです
部会の事業活動は、「**会員の業種別事業の改善発達を図る**」(定款)、又、
「**意見活動、相互研修・親睦、産業・経済の調査・研究**」(規約)と明記されている
部会長は年1回以上議員総会に報告すべきこと、又、部会の決議は常議員会の承認を得て
会議所の決議とすることができる と明記されている(定款)
部会は、**会頭の緩い統制の下、自主性・主体性を発揮して** 上記 他 必要事項を実行する

2. 活動の進め方 (活動のステップアップ)



1期3年の部会計画 (期テーマ設定)
単年度計画 (課題・テーマの設定)
の企画立案→(会議所の事業計画)
(事務局へ指示して具体的計画に)
会員交流・親睦
研修 (講演・勉強・研究)
業種課題の調査・研究
意見・提言へ 活動範囲を広げる

(部会で計画・実行する、or、
部会で大筋の企画をし、事務局に計画
を作成させ部会として実行する)

3. 留意するポイント

部会の運営について、何をどう進めるか
自主的・主体的に計画・実行する

今後数年で徐々に活動範囲を広げる
(ステップアップ:)

動きにくいテーマやプロジェクトでやった
方が良いテーマがあればプロジェクトを
立ち上げ進める、又、関係する部会・委員会
等と連携をとり進める、


**多くの一般会員に参画してもらう仕組みと
仕掛けを考え進める**

部会をまたがる活動は合同部会を検討する

4. 1期3年のテーマ設定 (例示):

- ・食料品部会:おいしい松本を作ろう、
- ・建設部会:地域に密着した活力ある部会へ
- ・工業部会:松本にふさわしいものづくり都市へ
- ・商業部会:商都まつもとの部会員の活力向上
- ・情報部会:情報・ITを経営力向上に活用しよう
- ・木工芸部会:松本に木の文化をふたたび

5. 意見提言活動のステップ:(定款の解釈)

- 
- 1). 部会にて
1期3年の部会テーマ決め
年度業種課題テーマのピックアップ
調査・研究
意見提言まとめ
 - 2). 常議員会へ提案・決済
(会議所の議決へ)
 - 3). 行政・他団体へ提案・要請
(会頭とともに)
 - 4). 実行・フォローアップ
 - 5). 議員総会に報告

3. -(4) 委員会の役割と具体的活動(詳細):


(当会議所の定款・規約とその行間を読み取り わかり易く整理した)

(地域経済活性化にむけて 今後 期待される委員会活動)

1. 基本の進め方:

会議所の使命は、「**会員企業の発展を図る**」と共に「**地域産業・経済の活性化に寄与する**」ことです
委員会は、会頭の緩い統制の下、会議所課題の検討・実行スタッフとして位置付け、
自主性を発揮して「重要課題や幅広い課題・テーマを調査研究・提案・実行する」
具体的な調査・研究事項は、夫々の委員会毎に規定に明記されている
委員会の決議は、常議員会の議決を得て処理する（緊急時は会頭に報告・処理する）

2. 活動の進め方（活動のステップアップ）



1期3年の委員会計画（期テーマ設定）
単年度計画（重要課題の設定）
の企画立案→（会議所の事業計画）
（事務局へ指示して具体的計画に）
委員の交流・親睦
研修（講演・勉強・研究）
重要課題の調査・研究
意見・提言へ 活動範囲を広げる

(委員会で計画・実行する、或いは、
委員会で大筋の企画をし、事務局に計画
を作成させ部会として実行する)


3. 留意するポイント

委員会の運営について、何をどう進めるか
自主的・主体的に計画・実行するも、
正副会頭会議に定期的に報告する
今後数年で徐々に活動範囲を広げる
(ステップアップ:)
プロジェクトでやった方が良い・他と合同で
進めた方が良いテーマがあれば プロジェクト
・合同委員会を立ち上げ連携して進める、
プロジェクトは、必要に応じて**一般会員にも
参画してもらい進める**
幅広い課題は合同委員会を検討する

4. 1期3年のテーマ設定（例示）:

- ・総務：活発で健全な会議所の運営、
- ・商業・観光：松本の特長を活かした にぎわいと活力ある松本のまちづくり
- ・工業：松本の特長ある新産業を
- ・観光・コンベンション：ビジョン策定と会議所の役割
- ・建設：地域に必要とされる産業にむけて
- ・中小企業・労働：元気な企業をふやそう
- ・会員サービス・情報：会員の情報交換・共有の仕組みと仕掛け

6. 意見提言活動のステップ：（定款の解釈）

- 
- 1). 委員会にて
1期3年の委員会テーマ決め
重要課題テーマ決め
調査・研究
意見提言まとめ
 - 2). 常議員会へ提案・決済
(会議所の議決へ)
 - 3). 行政・他団体へ提案・要請
(会頭とともに)
 - 4). 実行・フォローアップ
 - 5). 議員総会に報告

【答申】- 4. 本答申を確実に実行するため、

活性化推進プロジェクト、或いは、テーマ別推進プロジェクトを発足して進めて下さい

単独組織では動きにくい、或は、プロジェクトでやった方が良いテーマについては、推進プロジェクトを発足し進めて下さい、又、一般会員・若手会員も参画できるような仕組みと仕掛けを検討して下さい、

4-(1) 活性化推進プロジェクト、テーマ別推進プロジェクト

1). 推進プロジェクトのアイデアを答申に盛り込んだ理由:

地域経済の、そして、会議所の活性化に向けては、**議論ではなく**とにかく**行動し始める**ことが重要であり、推進プロジェクトを発足して実行することが必要である と意見が一致しました。

2). 推進プロジェクトの進め方: <下記のポイントに留意し 柔軟に対応するものとします>

- (1) 各組織(部会・委員会・他)が 自主的に立ち上げ 主体的に推進する
- (2) 部会・委員会単独では動きにくい、或は、プロジェクトでやった方が良いテーマを設定する
- (3) 目的・テーマ・期待するところ を明確にして進める
- (4) とにかく定例化して実施する (月に1回以上の開催)
- (5) ヤル気のある一般会員や若手会員にも参画してもらう仕組み・仕掛けを考え進める
- (6) 推進に当たっては関係部会・委員会・他と連携をとり進める

3). 推進プロジェクトの例示:

事例 : 活性化推進支援プロジェクト(仮称)

- * 目的 : 各部会・委員会・他が行う事業・課題推進に対して支援をする
- * 支援内容: 企画・計画・実行・フォロー等の支援 (あくまで支援)
- * 構成 : 本答申検討メンバーを中心に募集

事例 : 松本ブランド作りプロジェクト (ハード、ソフトのブランド)

- * 目的: 松本を全国・海外に売り出し 元気な松本の創生をめざす
- * 内容: ブランドの対象は、多岐にわたるため、それら全体を見通すなかで、どんな可能性があるか その可能性を探り、具体的進め方の提案をする
- * 対象となるもの: 観光素材、食品、食料品、料理、菓子、お土産、工業製品、木工芸品、町並み、まちのイメージ、旧跡、遺跡、文化、建造物、自然、温泉、山並み、その他沢山、

事例 : 創業者支援事業卒業生による新規創業者支援プロジェクト

- * 目的: 当所が実施した創業支援事業の卒業生グループを立ち上げ、新規創業者に生きたアドバイス・支援をする、とともに、卒業生の交流を図る

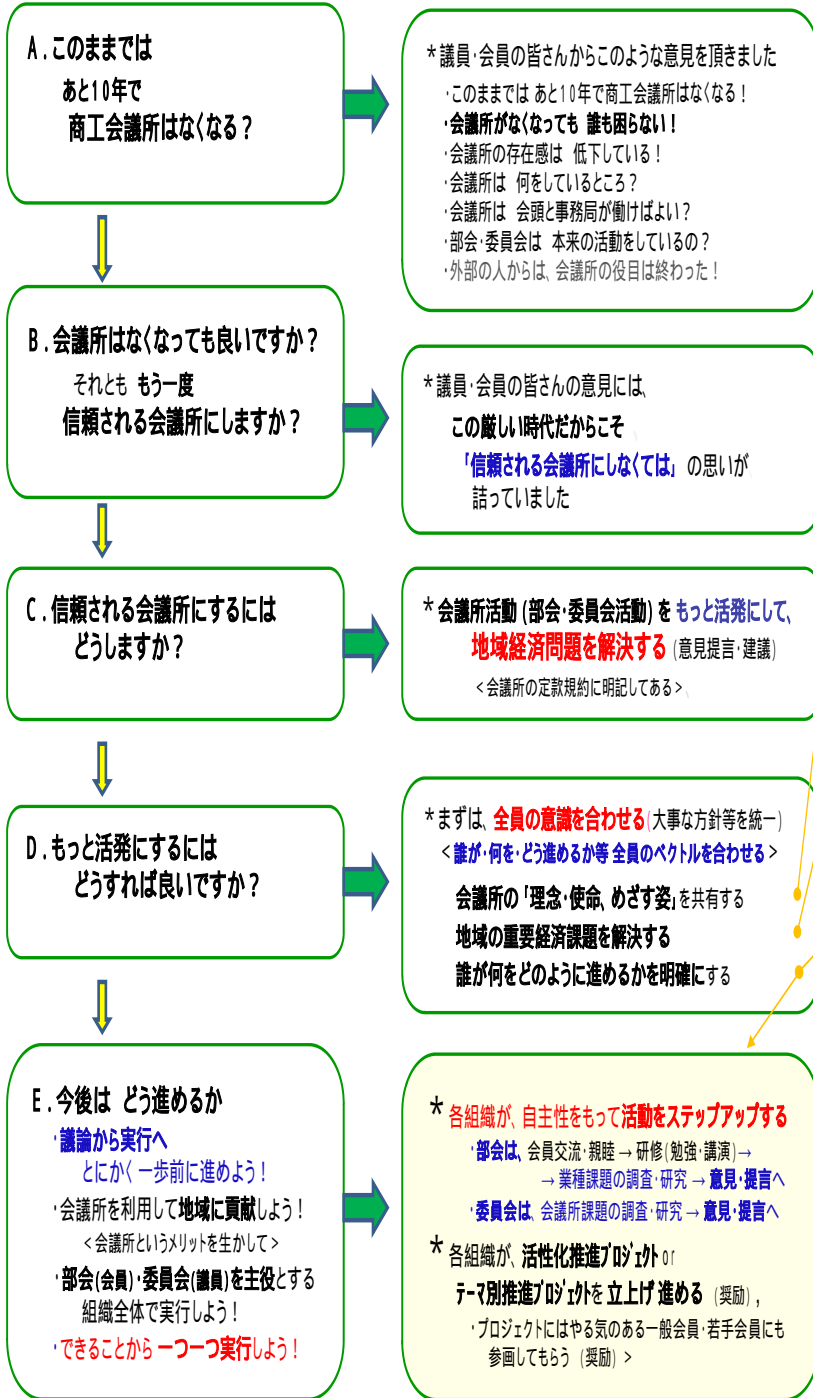
事例 : 会議所事業仕分けプロジェクト

- * 目的: 将来に向けて、事業の内容・質の評価による目的の明確化と改善向上

以上

松本地域経済活性化にむけ 議論から実行へ！ (松本商工会議所活性化検討プロジェクト)

説明資料



会議所としての**基本的方針等を共有する**

理念 (行動の基本的方針)
 「**貢献、自主・自立、参画、挑戦**」

使命 (存在意義、ミッション)
地域経済課題の解決を図る
企業を成長・発展させる

めざす姿 (ビジョン)
 「**信頼される会議所**」「**行動する会議所**」

地域の重要経済課題 (例示):

- 元気な企業に向け会員同士で取り組める相互研鑽事業は、魅力ある個店・特徴ある商店街づくりの現状課題を明確にし、会議所としては何を実施すべきか
- 2008年3月に策定した工業ビジョンの実現にむけて3年次チェックと今後の進め方再整理
- 観光ビジョンの検討と会議所の役割・進め方
- 健全な建設業の育成にむけて 商工会議所の対応
- 会員主役の商工会議所を目指すなか 一般会員も参加する仕組みと仕掛け

